

The深川WOODFES

月報委員会
副委員長 馬田勝之
(第1班)

3月25・26日、「お江戸深川さくらまつり」と同時に深川公園にてThe深川WOODFESが残念な雨の中、開催されました。(涙)

初めてウッドフェスとして参加したのは4年前の2019年でした。そしてコロナ対応が緩和されたことを受け、4年ぶりの開催となりました。しかし、残念なことに2日間とも雨に。大型テントをレンタルしている都合やキッチンカーも呼んでいること、翌週の前日は組んでいなかったことなど、雨で延期するわけにもいかず、テントの中だけのイベント開催となりました。

イベント内容は各社オリジナル企画を考え、ブースごとに木製品の販売をはじめ楽しめる遊びやワークショップ、障害を持った方たちが手作りする木のおもちゃの販売、そして今回から亀戸の老舗企業にも出店いただきました。

ご存じのお店ばかりかと思いますが、船橋屋さんは、くず餅の名店で並んで購入するほどの人気があります。今回は打ち合わせから社長をはじめ女性のスタッフが、毎回参加をいただき交流を深めていきました。弊社でくず餅と同じサイズの「くずもち積み木」を作ってご提案したところ、船橋屋さんのブースで販売してくれることになりました。おかげ様で30セットすべて販売していただきました。

升本さんは、保存料不使用の美味しいお弁当で有名ですが、亀戸大根を契約農家で栽培し、その伝統も守られています。本店では大根鍋を堪能することが出来ます。今回土曜日はキッチンカーもありましたが、やはり、升本さんのお弁当も人気でした。日曜日はキッチンカーもなく出店者は升本さんのお弁当を車の中で食べたりお土産にしたり全商品完売となりました。

佐野みそさんは、全国から厳選したお味噌を販売しています。亀戸のお店に行くと食材によるブレンド方法などを聞きながら購入が出来ます。今回は社長自ら店頭販売をしていただき、3種類選べるお得なセットもご用意いただきました。どのお味噌がこんな料理に合うとか、ドレッシングにするにはといったアドバイスをいただき、



船橋屋様



升本様



佐野みそ様



佐野みそファンが深川に増えていきました。「美味しいから毎日味噌汁に使ってたらすぐになくなっちゃった」と後で聞く声が多かったです。味噌は冷凍保存してそのまま使えるしブレンドで全然味が変わるのが興味深いです。

弊社のブースでは静岡から「木あそび」を生業としているfukumukuのふくいさんに来ていただき、手削りの愛嬌ある木製品で5個のゲームにチャレンジしてもらいました。

1つ目は指で木のコインをはじいて穴に入れるゲーム

2つ目は棒抜きゲーム、輪の中に3本残って立っていたら成功

3つ目は勘と運のゲーム、9マスに4回引いてビンゴが出来たら成功

4つ目は手先の器用さが必要な返る起こし5個のキャラクターを指ではじいて1個でも起き上がらせて立てば成功

最後は手作りクレーンで穴の開いた木を積み上げていきます、子どもは8個、大人は11個積み上げたら成功

このようなゲームは大人も子どもも夢中になれる素晴らしい発想のあそびでした。

ふくいさんのInstagram https://www.instagram.com/fukumuku_seiji/

今回晴れていれば、合板迷路、木のジャングルジム、ランバートレイン、わくわくの家等が展示され、子どもたちが自由に木にふれて遊べる空間を多く用意しておりました。

また、イベントでは江東区のプロバスケットチーム、東京ユナイテッドの協力でユナイトくんが来てシュートチャレンジ、写真撮影。けん玉のプロによる指導を受けてのけん玉大会、大友千里プロデュースの深川おどり等を予定してました。

これらの企画を実行出来ていればと思うととても残念ですが、みんなで協力して半年かけて打合せを繰り返し出来たことに意義があったと思います。来年までないのが悲しいとの意見もいただき、またどこかでウッドフェスを開催出来たらと思っています。